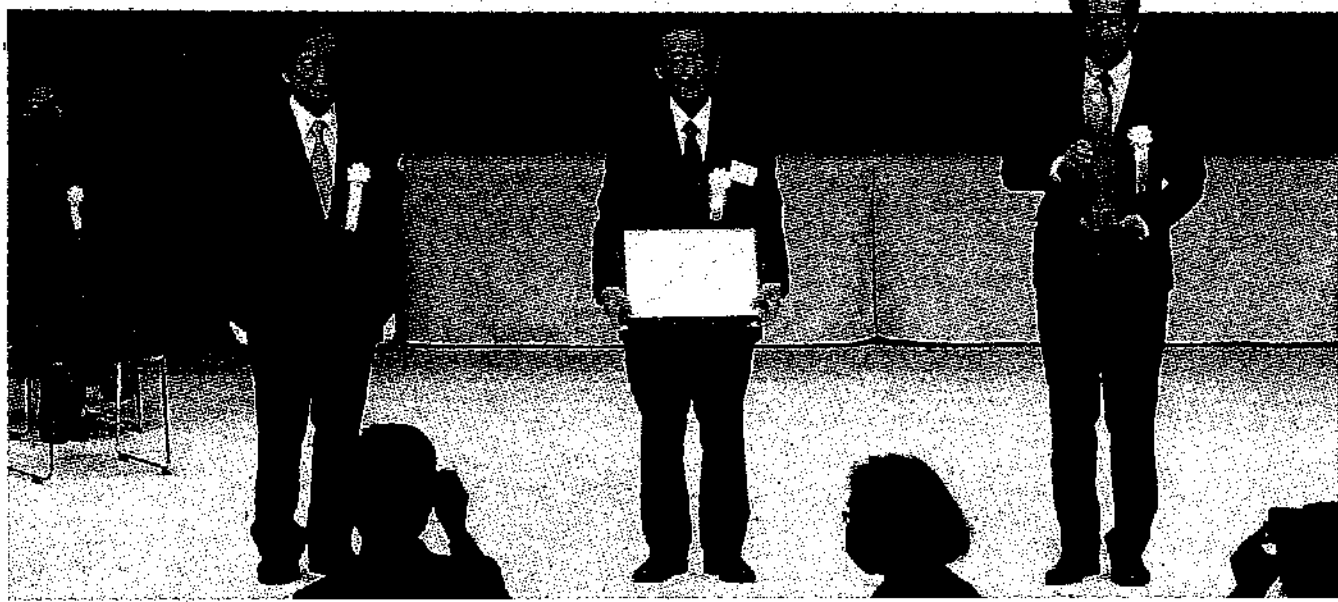


～未来に伝える 和歌山の文化財～

「お身代わり仏像」優秀賞

第8回プラチナ大賞で評価



小宮山会長(左)から表彰を受けた伊東館長(中)、大河内主任学芸員(中継動画より)

イノベーションによる新産業の創出やアイデアあふれる方策などにより、社会や地域の課題を解決している自治体や企業の取り組みを表彰する「第8回プラチナ大賞」の最終審査発表会が22日、東京都内で行われ、県立博物館が和歌山工業高校や和歌山大学と連携して実施している「お身代わり仏像」のプロジエクトが、最終審査進出の14件の中から「優秀賞・きりり活動賞」を受賞した。

最終審査発表会は「お身代わり仏像」は、地域の神社ユ・チューブで中継され、県が応募した取り組み「高校生・大学生と創る『お身代わり仏像』Project」を、3Dプリンターなど最新の技術を使って作製した仏像レプリカを奉納し、実物を博物館で保管する取り組み。大河内さんは、県

複数のCOで多面的に課題を支援

わかやま新報の読者の皆さま、こんにちは！

和歌山県より支援拠点を、なぜか疲労感だけが

徴収するモデルも見直し、会員制にしました。運営は一人なので、たぐさんの

今年度は、弁護士CO、税理士CO、社会保険労務士COと、さまざまな課題にも対応しております

スナック関連で2人

来店者と家族の感染判明



2人の新規感染を発表する野尻技監(左)

県は23日、御坊保健所管内の50代無職女性と30代無職女性

新規感染の2人は、クラスターと認定された同管内のスナック関連の濃厚接触者で、いずれも症状は安定している。

30代女性は、10日に同店を利用し、14日から発熱や全身倦怠感などの症状があったが、医療機関は受診しておらず、21日に濃厚接触者として検体を採取し、陽性となった。

内では2008年度ながら、維持・継承以降、280件以上の仏像盗難被害が発生し、その原因として、集落の高齢化、過疎化により、地域で守られてきた仏像の維持・管理が難しくなっている現状を指摘した。

老朽化の給食施設視察

浮島議員と文科省部長ら

和歌山市立の2校を訪問した。近年の給食施設は、床に水を流さず乾いた状態で調理や洗浄作業を行う「ドライシステム」が採用されているが、水が流す方式の古い施設は細菌やカビが増殖しやすく、衛生管理に注意を要する他、空調がないために高温多湿の状態となり、調理員にとってつらい労働環境になっている。市内には給食施設が老朽化した学校が複数あり、改善に向けて現状を

見てもおつと、尾花正啓市長が浮島議員に要請し、今回の視察が実現した。尾花市長は、市立小で最も古い1956年度の完成で、幅見小も64年度の完成から60年近くが経過。両校を訪問した浮島議員、山崎部長らは、尾花市長らと共に校長や調理員と話を交わした。

中高大生の力作並ぶ

25日まで 青潮書道会コンクール展

青潮書道会 大生・半切コンクール展を閉じている。

午前10時午後4時、問い合わせは同展覧会事務局(073-421-1118)へ。和歌山海上保安部によると、船長と乗っていた大阪府の20代の男女2人、60代男性1人のいずれも

加太沖で釣り船座礁 4人全員にけがなし 23日午前11時40分ごろ、和歌山市加太の淡嶋神社から約1000m沖で、釣り船(全長約11・3m)が浅瀬に乗り揚げたと男性船長(53)から1118番通報があった。和歌山海上保安部によると、船長と乗っていた大阪府の20代の男女2人、60代男性1人のいずれもけがなしで救助された。乗っていた釣り船は、淡嶋神社の沖に座礁し、乗っていた4人は全員にけがなしで救助された。乗っていた釣り船は、淡嶋神社の沖に座礁し、乗っていた4人は全員にけがなしで救助された。